



躍進する 女性陣

第320回

トラスト・ウィン 上沢典子さん

トラスト・ウィン（東京都狛江市）の上沢典子さんがドライバーになったきっかけは、「昔、テレビで女性ドライバーの特集を見て『かっこいいな』と思った」こと。夢を実現し、高校を卒業した18歳からドライバーひとすじだ。

「子どもの頃から、男の子に混じってプラモデルをいじるのが好きだった」という。トラックが好きなのも、「操っている感」が好きなのかな」と分析する。元々は大型に憧れ、ステップアップを目指していたというが、「周囲からの『大型は厳しいよ』という話を聞いて」方針を転換。現在は地場配送を中心に4トンを乗りこなしている。

家具、飲料水、食品など、どんな物でも運ぶ。同社の星恵子社長も、「家電の配送、家具の組み立て、什器の搬入に至るまで、オールマイティにこなしてくれる」と、その仕事ぶりに太鼓判を押す。「『また彼女でお願い』という指名も多い」。

同社唯一の女性ドライバーだが、「風通しが良く、言いたいことが言える会社」と居心地の良さを満喫。「女性だらけの職場にいた頃の方が、かえっていろいろと気を遣って辛かった」と明かす。

仕事でうれしいのは、「『ありがとう』と言ってもいい」と笑う。（大西友洋）

「ありがとう」が励みに